

第3回

海外で暮らす子どもたちの ことばと進路 を考えるセミナー 2025

複数言語環境下のことばの問題を子どもの視点から考える。
おとなが知らない現場での教育と子どもの学び、その将来。

オンライン
無料セミナー

2025

6/29 (日)

12:00～13:30

(日本時間)

特別講演



八木橋宏勇 (やぎはし ひろし) 杏林大学外国語学部教授

演題:「子どもの言語学習とバイリンガリズム」
ー極端な事例から学ぶ〈複数のことば〉が育つ3つのポイントー

多様な言語環境に生きる子どもたちは、複数の言語をいかに涵養していくのでしょうか。あえて極端な事例を取り上げ、子どもたちの中に息づくことばの様相を丁寧に観察してみます。そのうえで、「混乱」「不安」といった見方を乗り越え、複言語環境で育まれるバイリンガリズムを〈個性が磨かれる可能性〉として捉え直してみたいと思います。

八木橋宏勇：専門は認知言語学・社会言語学・第二言語習得論。NPO 法人「地球ことば村・世界言語博物館」副理事長として「継承日本語(日本にルーツを持つ子供の日本語教育)」の問題にも取り組んでいる。

事例報告



能城 黎 (のしろ れい) 啓明学園国際教育センター主任

複数言語環境で生活した帰国生はどのように「ことば」を育てていくのか？周りの大人が意識すべきことは？

自分の意思ではない様々な「移動」を経験した子どもたちはどのように「ことば」を育むのか、課題に直面するときどう乗り越えるか、周りの大人はどう支援すべきか。教育の現場で実際に私が出会ってきた帰国生たちに関する事例や生の声を紹介しながら、ともに考える時間を持ちたいと思います。

啓明学園：東京都昭島市にある私立小・中・高校。1940年の創立以来、帰国子女を受け入れる帰国生教育の先進校。日本語教育と国数理社の少人数取り出し授業、国際水準へ引き上げる英語教育に定評と実績あり。
能城 黎：啓明学園日本語国語科教諭。自身も米国からの帰国子女で、帰国生のことばの問題を熟知し、移動を余儀なくされる子どもの心に寄り添う教育を実践。

視聴方法

以下の URL よりお申込みください。

<https://kotobaseminar2025.peatix.com/>

イベントポータル Peatix に登録し、「チケット(無料)」を購入してください。

